

社会資本総合整備計画 事後評価書														
計画の名称	釧路港における安全で利便性の高い港湾環境の形成（防災・安全）													
計画の期間	令和０２年度 ～ 令和０６年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	釧路市													
計画の目標	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の計画的な改良により、安全で利便性の高い港湾環境を形成する													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		140	A	140	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	利用に支障をきたしている係留施設（２施設）の改良率を0%（R2）から100%（R6）にする。			
	係留施設の改良が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な部分の対策率（％）＝（対策済み延長（ｍ）／計画期間内の改良の必要な延長（ｍ））×１００	0%	11%	100%
2	安全な交通を確保するために必要な臨港道路のうち重要幹線（760m）の改良率を0%（R2）から65%（R6）にする。			
	臨港道路の改良が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な部分の対策率（％）＝（対策済み延長（ｍ）／計画期間内の改良の必要な延長（ｍ））×１００	0%	19%	65%
3	利用に支障をきたしている岸壁の改良率を0%（R2）から24%(R6)にする。			
	岸壁の改良が必要な延長の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な岸壁の延長の対策率（％）＝（対策済み延長（ｍ）／改良の必要な延長（ｍ））×１００	0%	23%	24%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
釧路市強靱化計画に基づき実施される要素事業：A02-001、A02-002、A02-003、A02-004												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	副港道路改良	L = 5 3 0 m	釧路港・東港区						59		策定済
	A02-002	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	南新埠頭南側ドルフィン改良	上部工・下部工改修 L=12m	釧路港・東港区						26		策定済
		令和 3 年度より重点へ移行																	
	A02-003	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	第4埠頭東側-10.0m岸壁改良	基礎捨石補修 L = 9 3 m	釧路港・西港区						11		策定済
	A02-004	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	第2埠頭南側-12.0m岸壁改良	第 2 埠頭岸壁 L = 1 , 1 6 0 m	釧路港・西港区						44		策定済
											小計						140		
											合計						140		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所管部署により評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	評価完了後、釧路市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業実施により危険個所が解消され、安全で利便性の高い港湾環境が形成された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	施設の機能回付により利用者の利便性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
今後も、計画的な施設改良を実施し、安全で利便性の高い港湾環境の形成に努める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	最 終 目標値	65%	事業実施時期の見直し等によるもの。令和８年度からの社会資本総合整備計画内で着実に実施していく。
	最 終 実績値	0%	
3	最 終 目標値	24%	詳細調査により安全性が確保されていることが判明したため。
	最 終 実績値	0%	